

ひのっこ だより

④必佐小学校

学校教育目標

「力いっぱい やさしさいっぱい
めあてしっかり コツコツと」

子どもたちが力を十分発揮して、成長することができるよう、支え合い、お互いの人権を大切にしようとする集団づくりやめあてをしっかり決めて最後までがんばる学習の工夫に努めています。

●1年生を迎える技

6年生が『1年生を迎える会』で集団縄跳びや跳び箱の技を見せてくれました。「頭はね跳び」や「抱え込み跳び」などの技や何回も途切れることのない連続跳びに歓声があがりました。



▲集団縄跳び

目標を持ってあきらめず力いっぱいがんばればできるようになることを教えてくれた発表でした。



▲跳び箱でいろいろな技を披露

●応援

ボランティア委員会が中心になり、全校に呼びかけて福島の復興を応援する折り鶴を現地に送ることになりました。初めは鶴の折り方も全く知らず苦労していましたが、各クラスで教え合いながら一生懸命鶴を折り、たくさんの思いが集まりました。今後、福島県新地町の学校に届ける予定です。



▲思いのこもった折り鶴

●大震災から学ぶ



◀活動のお話を聞く5・6年生

東日本大震災の復興支援ボランティアに参加された必守会の方から被災地や活動の様子についてお話を聞きました。

5・6年生は総合的な学習の時間に大震災についてさまざまな角度から調べる学習を進めています。この日も自分たちにできることを考える大変よい機会になりました。

●5-5交流



◀プールでの交流の様子

幼稚園・保育所の5歳児と5年生がプールで交流活動をしました。5歳児の子どもたちは、5年生のクロールや平泳ぎのデモンストレーションを見学した後、おんぶをしてもらって大プールで歩いたり、浮島で遊んだりと思いきり楽しみました。5年生の子どもたちもいつの間にかやさしさいっぱいのお兄さん、お姉さんの顔になっていました。